



厳冬期の夕張岳ヒュッテ

ユウパ リコザクラ だより

再開二年目のヒュッテ運営

ユウパリコザクラの会代表 藤井 純一

今冬何度か大雪がありました。雨を伴う暖かい日があり、今のところ積雪は少ないようです。昨年末の三十日、国道夕張岳入り口の様子を見に行ったところ、20cmほどしかありませんでした。なかなか私たちも老いたので、ヒュッテおよび林道の様子を見に行きませんが、大雪で不測の事態にならないことを願っています。

昨今本当に天候が変ですね。私の子供のころは根雪になってから、雨が降ることはなかった様な気がします。

私事ですが昨年八月妻が熱中症にかかり、おまけに脳梗塞を患い、我が家としては戦後最大の出来事でした。お陰様で軽く済み、ほぼ以前の生活を送れています。

第124号

2026.01.30 発行

(令和8年)

ユウパリコザクラの会

事務局(菊地)

〒069-0835

江別市文京台南町 53-13

FAX 011-387-1385

携帯 080-6090-1839

E-mail

info@yuparikozakura.org

Website

http://yuparikozakura.org

ようこそ花の夕張岳へ

https://www.facebook.com/

yuparikozakura/

ます。急遽自営業の電気屋さんで、コザクラの会の会員某Sさんに無理を押ししてエアコンを設置してもらいました。北海道にエアコンは不要という思いでしたのですが。

長い周期で見ると、氷河期に向かっていっているのに、今年も暑い日々が予想されます。地球がどうかなってしまっているのだろうか？

この地球環境を思うと、世界で今起きていることが、無意味で何と愚かしいことか、国境がどうの戦争をしている場合ではない。現に南太平洋に浮かぶ島国の住民が、国土が水没すると、オーストラリアに移民を始めている。中緯度の国々の「豊かさ」「便利さ」の飽くなき追求により、後進国を犠牲にした結果であります。あの大統領を選んだアメリカの良心はどこへ行ったのだろうか。

さて昨年六月二十一日ヒュッテ前広場で夕張市長を始め空知森林管理署署長、空知総合振興局環境部環境生活課課長、地元警察署、関係者各位の参列の中、期待を込めてヒュッテ開き(山開き)が行われましたが、予想以上に反して登山者が非常に少なかった。例年だと入山者数千強、宿泊者四百人ほどであるが、それぞれその半分にも満たない千六百人、百四十人程度で、協力金は二十万円程でした。

登山者が少ないことは、山には大変良いことであり

ます。特に高山植物の保護には歓迎されることです。が、ヒュッテ宿泊者が少ないことは、ヒュッテの維持にとって大いに痛手であります。

今ヒュッテの運営について市教委と水面下で要望を提起しています。従来の様に市が管理人をシーズン雇用で対処してほしいと言うのが、私の望みですが、その様な形態はなかなか厳しいらしい。行政的な理由を言っていたが、内容を理解できなかった。どうなるにせよ我会は何らかの形でヒュッテ維持に協力することになります。なんたつて夕張岳ヒュッテはまだ完成していません。早い時期にヒュッテを完成状態にしなければなりません。今年も精神的に「働いて」「働いて」「働いて」完成に近づきたい。皆様もその覚悟でよろしくお願いします。

総会で皆様の意見を集約し、会の意思を決定しますが、会がどのような課題を抱えているか列記します。

- 一、先に述べた管理人の配置形態。
- 二、電気設備整備(系統別の配線替え等)。
- 三、若菜T字路の案内板移設(見やすい上部に移設又は新規設置)。現在は撤去しています。
- 四、登山道案内板の更新および設置。
- 五、登山道の整備のあり方。
- 六、役員の改選。

夕張岳に理解を示し奔走して頂いた市教委の山口さんが昨年山口県の方に転出されました。大変残念な事ですが、後任者も必ず力になってくれると信じています。地元で頑張っていて、市教委と接触している谷口自然保護監視員には頭が下がります。また菊地事務局長には煩わしい仕事ありがとうございます。私たちも無理のない行動で自然保護、ヒュッテ管理運営に力を出しましょう。

北海道自然保護連合交流会

事務局長 菊地 宏治

北海道自然保護連合の交流会が、十月四日～五日に夕張岳ヒュッテで行われました。

交流会は例年参加団体が持ち回りで主管となり、開催をしています。今回は当会が主管となり実施しました。参加してくださった団体は、北海道自然保護協会、大雪と石狩川の自然を守る会、十勝自然保護協会の3団体と当会で合計9名となりました。

交流会の主な流れは、主管団体の携わっている

フィールドの状況などを見て回る屋外研修と近況報告会や懇親的な内容の屋内研修会に分けて行うことが、常になっています。ユウパニコザクラの会のフィールドは、ほぼ夕張岳であるのでなかなか年配者を含む参加者をご案内するのが厳しいため、夕張市の石炭博物館を訪ねる事にしました。中核施設であった「旧北炭夕張炭鋳模擬坑道」が火災により見られない状態が続いていましたが、昨年度よりリニューアルされて見



石炭博物館の旧北炭夕張炭鋳模擬坑道の見学

学可能になっています。前半の展示は産炭地夕張の歴史を辿るものが中心です。運よく模擬坑道の無料説明が行われる時間であったので、30分程聞いて歩きまし

た。その後、藤井代表の仕事場である高松地区の旧夕張



旧夕張炭鋳のズリ山のプラント見学

炭鋳のズリ山のプラント見学に行きました。かつて炭鋳で排出されたボタ山（ズリ山）から石炭分を分離・回収する事業が15年頃から本格化しており、分離技術を用いて低品位炭を生産し、火力発電用燃料として出荷しています。こ

れは長年「厄介者」だったズリ山の処理と有効活用（二石三鳥の対策）を目的としており、現在も調査・事業が進められています。石炭とズリの比重の違いを利用してズリから石炭を分離する仕組みの現場も特別に見学できました。

その後、夕張岳ヒュッテに移動して参加団体からの近況報告会ならびに懇親会を行いました。北海道自然保護連合のとしての動きとしては、北海道が雌阿寒



夕張岳ヒュッテでの近況報告会

岳噴火時の避難を目的として、道道モアシヨロ原野螺湾足寄停車場線の新たな整備計画を進めていることに対しての計画の見直しを要求すべく、署名を集める行動を年末から実施することによって一致しました。

アポイ岳ファンクラブ交流会

事務局長 菊地 宏治

アポイ岳ファンクラブとの交流会が、9月6日・7日に行われました。この交流会は、毎年お互いのフィールド（アポイ岳&夕張岳）を登山し、情報交換などで交流を深める事を目的におこなっています。コロナ禍で一時期開催を見送っていた時期もありましたが、毎年欠かさず行われてきました。しかし、23年に発生した夕張岳鹿島林道の土砂崩れによる林道通行止め、3年連続でアポイ岳ファンクラブさんの方での開催をして頂いておりました。今回は久々の夕張での開催となりました。アポイ岳からは田中会長他3名のご参加、コザクラの会からは6名の参加となりました。

鹿島眺望公園に集合していただき、公園内のモニュメント等や当会で制作して夕張市に寄付した2つの看板に基づいて、夕張岳の天然記念物エリアや道立自然公園のエリアとの関係等を確認していただきました。もう一つの看板ではこの公園の場所がかつては夕張東高校で、目の前のシューパロ湖が三菱探鉱が中心となり、2万人の人口で栄えた「大夕張」地区であったという紹介をさせていただきました。ダム湖が渇水時期



アポイ岳FCの参加者と記念撮影

であったので、普段は湖底に沈んでいる国道跡や鉄橋跡などを水辺まで降りて見ていただきました。ヒュッテ移動後ミーティングと懇親会となりました。翌日はかなりの強い雨模様でしたので、登山は中止しました。

夕張雑記

谷口 鏡子 (自然観察員)

「今年の漢字」に「熊」が選ばれるような時代が来るとは誰が想像したろうか。夕張全体ではメロンや農作物への被害はこれまでもあったし、道路横断の目撃は未報告のものも含めれば相当数になると思われる。しかし民家のごみ箱や公園内の木の実までも狙うというのはやはり異常事態だろう。夕張岳に目を移せば、木の実は不作は実感するものの熊の動向に特段変わりなく、登山者からの目撃情報も決して多くはない印象である。個人的には根の掘り返しや糞を確認しただけでご尊顔を拝することはなかった。

熊以外の話題としては、昨年は雪解けが早く、5月末で既にダニが活動しており辟易した。植物全般については高温のためか生育が早くあれよあれよという間に秋を迎えた印象であった。例年6月末に見頃を迎えるユウパリコザクラだがこれも大幅に前倒しだった。



前岳湿原 (2020年8月2日)



前岳湿原 (2025年8月3日)



破損が著しい高架木道

一方、シカによる食害や踏み付け、笹の繁茂は安定して悩ましい。前岳湿原のヒオウギアヤメ群落はその両方の被害をわかりやすく示している。ちょうどシカの通り道になっているようで、通りすがりに「道草を食う」感覚で新芽を食べていると思われる。また笹も群落の両側からすさまじい勢いで成長して日照を遮ってしまう。シカにしる笹にしる、どちらも自然の一部でありそれぞれの命を全うしているのだから、アヤメという特定種を守るための人為的な介入がどこまで許されるのかも悩ましく、さりとて効果的な対策も思いつかないのもまた悩ましさを増す要因となっている。

そしてもう一つ大きな懸案がある。敷設から二十年を経過する木道の劣化で、特に湿原を保護する目的で設置された高架木道(四本の支柱で歩行板を支えている)は、経年による部材の腐食と冬場の雪の重み、凍結などの過酷な環境下で年を追うごとに損壊が進行している。本来は水平であるべき歩行面が傾斜していて、濡れた状況では滑りやすい。そうした木道は避けたくなるのが人情で、脇に別な歩行跡ができてしまっている。かといって元に戻せば解決とも言えず、数年後には同じ現象が起きかねない。夕張岳に限らず同じ方式の木道では似たり寄ったり状況に直面しているらしい。

植生保護と維持管理の省力化が両立できるような登山道の整備の在り方そのものから検討が求められる。また整備事業は誰が担うべきかも一筋縄ではないかないと言わざるを得ない事情が横たわる。

夕張岳の文化財としての管理は夕張市が担っている。その夕張市も来年度末に財政再生団体から脱する見通しで、借金完済は喜ばしい一方、実情を言えば、国や道からの制約から解放されるのと同時に、様々な支援も打ち切られ完全な自立を余儀なくされる現実が待ち受ける。人口はすでに五千人台(そのうち半数が高齢者)、出生数は一桁という状況では、生活圏の維持で精一杯と想像される。登山道整備と併せて「市営ヒュッテ」の運営にも積極的な関与を期待したいがかなり厳しいという印象が否めない。

夕張岳の希少性や教育資源としての価値は誰しもが認めるものと疑わないが、足元が脆弱な中での維持保全活動の鍵は今まで以上に有志頼みになりそうである。発足から四十年を迎えようとする当会も他の市民団体同様に会員の高齢化が課題であるが、物価高騰を始めて生活環境の厳しさが増す昨今、若い世代のボランティア活動への参加は容易ではないだろう。一方、地球規模で「貧しさ」が進むからこそ、その反動として「豊かさ」を渴望する一定数が今後増えていくことに望みを託したい。

令和7年12月1日 現在	
人口	5,790人(-39人)
男	2,744人(-18人)
女	3,046人(-21人)
世帯数	3,565世帯(-23世帯)
	()は前月比
※住民基本台帳法の改正に伴い、外国人住民が含まれています。	

夕張市の人口

今後のスケジュール（予定含む）

月	日	各行事内容
2	未定	冬季ヒュッテ巡視①
3	未定 未定	冬季ヒュッテ巡視② 役員会（札幌）
4	未定	総会前役員会（札幌）
5	未定 23（土）※予定	夕張岳関係者協議会 2025年度定期総会
6	7（日）※予定 13（土）※予定 21（日）※予定	第1回パトロール（登山道整備） 夕張岳ヒュッテ開き 第2回パトロール 兼官民合同パトロール①
7	2（木）※予定 26（日）※予定	第3回パトロール 兼官民合同パトロール② 第4回パトロール

※ご参加希望の方は事務局までご連絡ください
※日程は都合により、変更になる可能性があります

北海道高山植物保護ネット市民フォーラム

北海道高山植物保護ネット主催市民フォーラム「お花畑はいま2025」が北海道大学農学部大講堂で11月30日に行われました。講演として「それで新種はありました？」梅沢 俊（写真家）・植物園の保全研究と生息域外保全の仕組み作り 中村 剛（北海道大学准教授）があり、夕張岳に関する新種の話もありました。（これにつきましては次号以降で紹介させていただく予定です）



おおよそ120名の参加者で賑わいました



現道があるのにこの森が大規模開削されようとしている

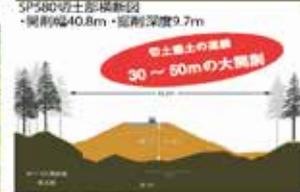
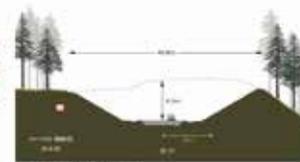
風穴谷辺で見られるミズゴケ類



ホソバミスゴケ



ゴレタミスゴケ



★凍土の融解・地下水脈の分断★
→低湿度環境の形成
→林内の乾燥化
★広大な法面の発生★
→乾燥に強い植物の侵入・増殖
★道路沿いの日射量・気温・湿度・風速の変化★
→樹木・草本・コケ類に大きな影響

北海道自然保護連合では、阿寒摩周国立公園を含む森を4.4kmに渡って切り開く新しい道路建設に反対し、現在署名活動を行っています。



オンライン署名活動は [change.org](https://www.change.org/Akan-Mashu-NP) で行っています。 <https://www.change.org/Akan-Mashu-NP>

会費の継続納入・ご寄付
ありがとうございます！

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパリコザクラの会へ入会またはご寄付をよろしくお願い致します。

年会費 2,000円 家族会員 3,000円

名義：ユウパリコザクラの会

ゆうちょ口座：02780-9-43747

【お仕事の例】

- ・監視パトロール（道委託 / 森林管理署協定）
- ・ヒュッテ管理人・維持管理（夕張市委託）
- ・高山植物観察員 / 文化財・森林観察員
- ・各関係団体との交流 / 広報・庶務作業



夕張岳ヒュッテと炊事棟の
維持管理にご支援を！

数年ぶりにヒュッテ開きが行われ、山にはかつての賑わいが戻りつつあるのを感じています。ヒュッテにおいては冬季間のダメージの修繕や定期メンテナンス等の工事は進める必要があります。皆様からのあたたかい寄付を何卒よろしくお願いいたします。



名義：ユウパリコザクラの会

ゆうちょ口座：02780-9-43747

（銀行間振込の場合）

ゆうちょ銀行 二七九店 当座0043747